

電子媒体暗号化ツール 操作説明書

(第 1. 0 0 版)

令和元年 5 月

日本私立学校振興・共済事業団

目次

| | |
|-------------------|----|
| はじめに..... | 3 |
| 1. マニュアルの構成..... | 3 |
| 2. お問い合わせ先..... | 3 |
| 第1章 セットアップ..... | 4 |
| 1. 動作環境..... | 4 |
| 2. インストール..... | 5 |
| 3. アンインストール..... | 8 |
| 第2章 運用・操作..... | 10 |
| 1. 前提事項..... | 10 |
| 2. 報告媒体について..... | 10 |
| 3. 各画面について..... | 11 |
| 第3章 Q & A..... | 15 |
| 1. エラーメッセージ..... | 15 |
| 2. よくある問い合わせ..... | 16 |

はじめに

1. マニュアルの構成

第1章 セットアップ

電子媒体暗号化ツールのインストール及びアンインストール手順について説明しています。

第2章 運用・操作

電子媒体暗号化ツール操作方法について説明しています。

第3章 Q & A

電子媒体暗号化ツールで発生する各種メッセージに対する対処方法と、よく頂くご質問についての対処方法について説明しています。

2. お問い合わせ先

ご不明な点等がございましたら、以下の連絡先へお問い合わせください。

・電話連絡

① 資格取得報告

共済事業本部 業務部資格課 資格第一係
03 (3813) 5321 (代表)

② 標準報酬月額改定届、標準報酬基礎届、賞与等支給報告

共済事業本部 業務部資格課 資格第二係
03 (3813) 5321 (代表)

・私学事業団ホームページ

<https://www.shigakukyosai.jp/>

第1章 セットアップ

この章では、電子媒体暗号化ツールの動作環境、インストール方法、アンインストール方法について説明します。

1. 動作環境

電子媒体暗号化ツールを使用するための動作環境を示します。

1. 1 ハードウェア環境

| | | |
|----------|---|---|
| プロセッサ | : | Windows7(32bit)の最小仕様要求以上を推奨 (1.0 GHz 以上) |
| 物理メモリ | : | Windows7(32bit)の最小仕様要求以上を推奨 (1.0 GB 以上) |
| 空きディスク容量 | : | 10 MB 以上を推奨 |
| 画面 | : | 解像度 800 ドット×600 ドット以上を推奨 |
| フレームワーク | : | Microsoft .NET Framework4.x |

1. 2 ソフトウェア環境

| | | |
|------------|---|--|
| OS | : | 以下のOSは動作確認済 Windows7 Windows8.1 Windows10 |
| オープンソフトウェア | : | Microsoft.WindowsAPICodePack.dll Microsoft.WindowsAPICodePack.Shell.dll |

<商標に関する表示>

- ・ Windows7、Windows8.1、Windows10、Microsoft.WindowsAPICodePack.dll、Microsoft.WindowsAPICodePack.Shell.dll は、
米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。

<注意点>

- ・ 電子媒体暗号化ツールを実行するにあたり、上記オープンソフトウェアが実行ファイル (DsbtEn.exe) と同一フォルダーに格納されていない場合、一部の機能に不具合が生じる場合があります。

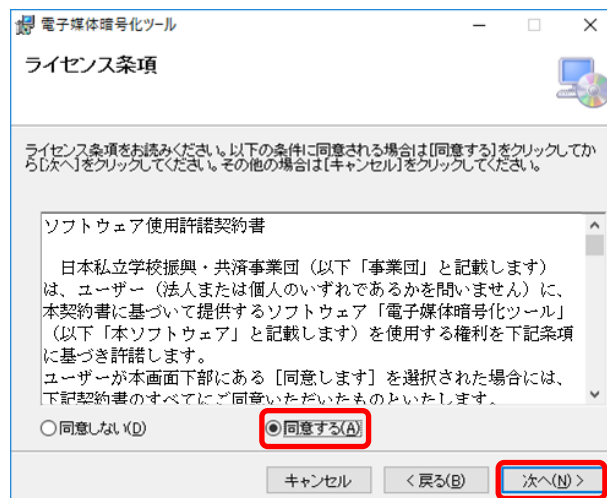
2. インストール

電子媒体暗号化ツールのインストール手順を示します。

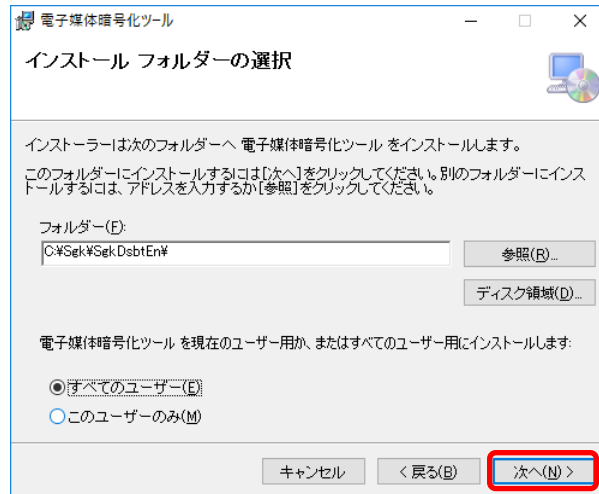
- [手順 1] インストーラーを起動し、「電子媒体暗号化ツール セットアップウィザードへようこそ」という画面が表示されます。
- 画面下部に表示されている著作権に関する注意事項を確認後、「次へ(N)」ボタンを押下します。



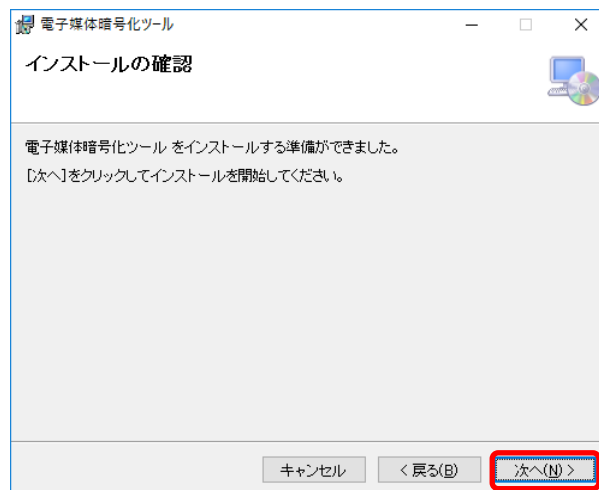
- [手順 2] 「ライセンス条項」画面が表示されます。
- ソフトウェア使用許諾契約書を確認し、「同意する(A)」を選択後「次へ(N)」ボタンを押下します。



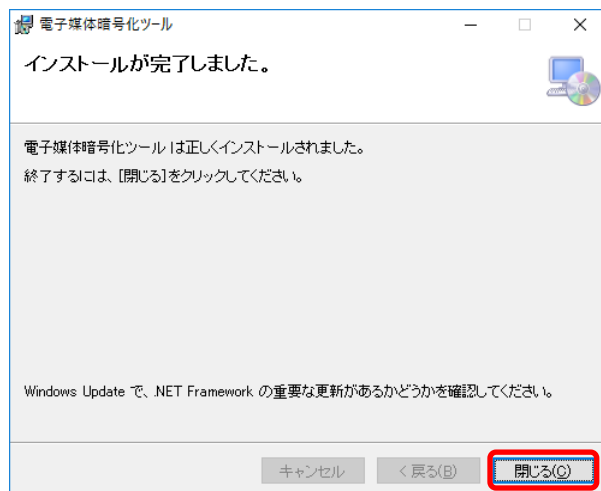
- [手順 3] 「インストールフォルダーの選択」画面が表示されます。
必要に応じてインストールフォルダーを指定し、「次へ(N)」ボタンを押下します。
※デフォルト「C:\\$gk¥SgkDsbtEn¥」



- [手順 4] 「インストールの確認」画面が表示されます。
「次へ(N)」ボタンを押下することでインストールが開始されます。
※途中ユーザアカウント制御のダイアログが表示された場合、
「はい」ボタンを押下します。



- [手順 5] インストールが正常に完了したことを示す画面が表示されます。
「閉じる (C)」 ボタンを押下し、インストールウィザードを終了します。



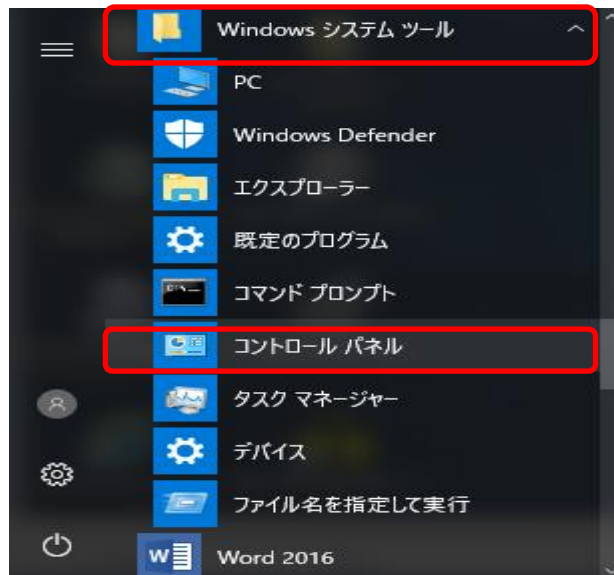
3. アンインストール

電子媒体暗号化ツールのアンインストール手順を示します。

[手順 1] タスクバーに存在するの Windows アイコンをクリックします。



[手順 2] アプリケーションの一覧が表示されるため、「Windows システムツール」より「コントロールパネル」をクリックします。



[手順 3] コントロールパネルより「プログラム」をクリックします。



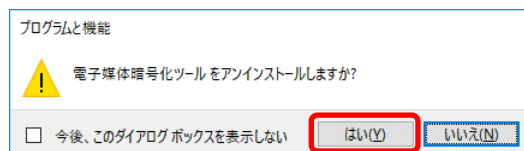
[手順 4] プログラム画面より「プログラムと機能」をクリックします。



[手順 5] 表示されているプログラムの一覧から電子媒体暗号化ツールを選択し、[アンインストール]をクリックします。



[手順 6] 確認ダイアログが表示された場合、「はい(Y)」ボタンを押下します。
※途中ユーザアカウント制御のダイアログが表示された場合、
「はい」ボタンを押下します。



[手順 7] アンインストールが実行されます。
ウィンドウが消えたら、アンインストールは終了です。

第2章 運用・操作

1. 前提事項

電子媒体暗号化ツールを運用するにあたり、以下を前提としています。

- ① 電子媒体作成機能の媒体チェックにてチェック済みの電子申請データであること。
- ② 電子媒体暗号化ツールが最新版と同一バージョンであること。

2. 報告媒体について

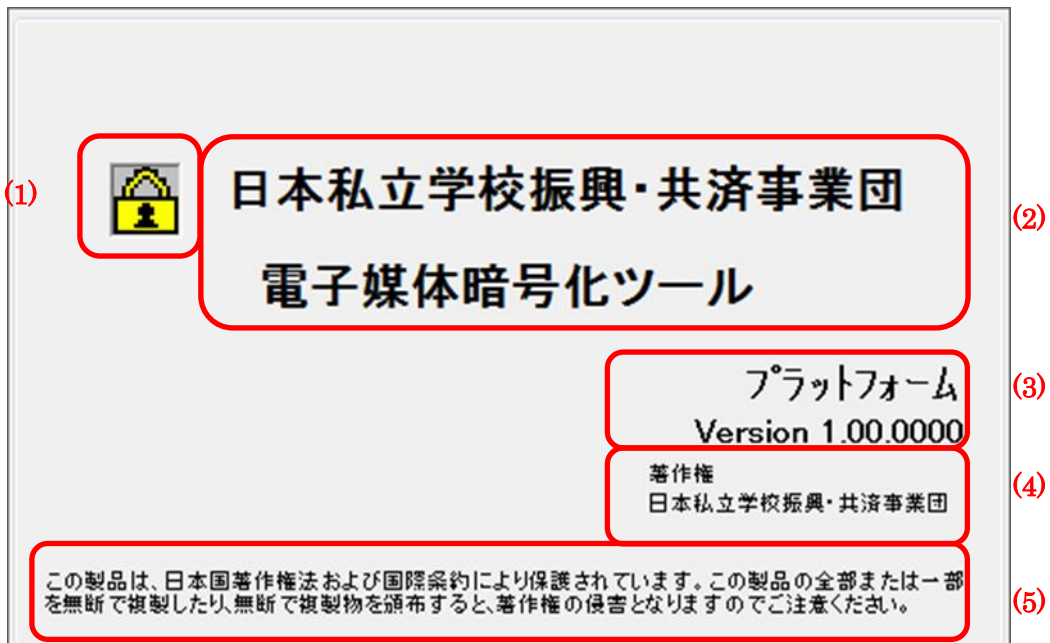
電子媒体暗号化ツールにて暗号化された電子申請データ（以降、暗号化済電子申請データ）にて私学事業団に報告を行う場合、媒体チェック時と暗号化済電子申請データの提出用で2枚のCD-Rが必要となる場合があります。

3. 各画面について

電子媒体暗号化ツールは以下の2画面にて構成されています。

① 製品情報画面

電子媒体暗号化ツール起動時にツールの情報(アイコン、ツール名称、バージョン情報、著作権情報、警告)を約3秒間表示します。



| 番号 | 名称 | 説明 |
|-----|---------|------------------------|
| (1) | アイコン | 電子媒体暗号化ツールのアイコン |
| (2) | ツール名称 | 電子媒体暗号化ツールの名称 |
| (3) | バージョン情報 | 電子媒体暗号化ツールのバージョン |
| (4) | 著作権情報 | 電子媒体暗号化ツールの著作権先 |
| (5) | 警告 | 電子媒体暗号化ツールの取り扱いに関する警告文 |

② 暗号化画面

電子申請データの暗号化を行い、暗号化済電子申請データの作成を行います。

| 番号 | 名称 | 説明 |
|-----|--------|---|
| (1) | 入力テキスト | <p>入力ファイル（電子申請データ）の参照先をフルパスで設定します。</p> <p>【直接入力】 暗号化する電子申請データのフルパスを入力 例) C:\¥Sgk¥SgkDsbtEn¥SYUTOKU.CSV</p> <p>【ダイアログ入力】 入力参照ボタンを押下することにより表示されるファイル参照ダイアログにて暗号化する電子申請データを選択する。</p> |

| 番号 | 名称 | 説明 |
|-----|---------|--|
| (2) | 入力参照ボタン | <p>ファイル参照ダイアログを表示します。</p> <p>【入力テキストのファイルが存在する場合】 入力テキストのディレクトリとファイル名称を設定した状態でダイアログを表示します。</p> <p>【入力テキストのファイルが存在しない場合】 電子媒体暗号化ツールの格納ディレクトリを設定した状態でダイアログを表示します。(ファイル名称は空欄)</p> |
| (3) | 出力テキスト | <p>暗号化済電子申請データの出力先ディレクトリをフルパスで設定します。(ファイルの指定はNG)</p> <p>【直接入力】 出力先ディレクトリのフルパスを入力 例(OK) C:\¥Sgk¥SgkDsbtEn C:\¥Sgk¥SgkDsbtEn¥ 例(NG) C:\¥Sgk¥SgkDsbtEn¥SYUTOKU.CSV</p> <p>【ダイアログ入力】 入力参照ボタンを押下することにより表示されるファイル参照ダイアログにて暗号化する電子申請データを選択する。</p> |
| (4) | 出力参照ボタン | <p>フォルダー参照ダイアログを表示します。</p> <p>【出力テキストのディレクトリが存在する場合】 出力テキストのディレクトリを設定した状態でダイアログを表示します。(フォルダー名称は空欄)</p> <p>【出力テキストのディレクトリが存在しない場合】 電子媒体暗号化ツールの格納ディレクトリを設定した状態でダイアログを表示します。(フォルダー名称は空欄)</p> |

| 番号 | 名称 | 説明 |
|-----|--------|---|
| (5) | 暗号化ボタン | <p>暗号化処理を行います。</p> <p>① 画面項目チェック</p> <p>チェック正常 : 処理継続 (②へ)</p> <p>チェック異常 : エラーメッセージ表示 処理終了</p> <p>② 実行確認ダイアログ表示</p> <p>OK : 処理継続 (③へ)</p> <p>キャンセル : 処理終了</p> <p>③ 暗号化済電子申請データ重複確認</p> <p>重複あり : 処理継続 (④へ)</p> <p>重複なし : 処理継続 (⑤へ)</p> <p>④ 重複確認ダイアログ表示</p> <p>OK : 処理継続 (⑤へ)</p> <p>キャンセル : 処理終了</p> <p>⑤ 暗号化処理</p> <p>正常終了 : 終了メッセージ表示 暗号化済電子申請データ作成</p> <p>異常終了 : エラーメッセージ表示 処理終了</p> <p>※ 異常終了の場合、作成中の暗号化済電子申請データは削除されます。</p> |
| (6) | 終了ボタン | <p>電子媒体暗号化ツールを終了します。</p> <p>① 終了確認ダイアログ表示</p> <p>OK : アプリケーション終了</p> <p>キャンセル : 処理中断</p> |

第3章 Q & A

1. エラーメッセージ

- メッセージ : 電子媒体暗号化ツールは既に起動しています。
対策 : 電子媒体暗号化ツールの多重起動はできません。
- メッセージ : 動作環境が不正なため、起動できません。
対策 : 動作環境が不正です。
アンインストールを行い、再度インストールしてください。
- メッセージ : 入力ファイルを指定してください。
対策 : 入力テキストに報告する電子媒体のフルパスを入力してください。
- メッセージ : 出力先を指定してください。
対策 : 出力先テキストに暗号化済報告データの出力フォルダーを入力してください。
- メッセージ : 入力ファイル（[フルパス]）が存在しません。
対策 : 入力ファイルが存在するか確認してください。
- メッセージ : 入力ファイルには電子申請データを指定してください。
対策 : 入力ファイルの名称が以下のいずれかであることを確認してください。
① SYUTOKU.CSV
② HOUSYU.CSV
③ KISO.CSV
④ SYOYO.CSV
- メッセージ : 出力先にファイルが指定されています。
フォルダー（ドライブ）のみ指定可能です。
対策 : 出力先にはファイルを指定できません。
出力先を再度指定してください。
- メッセージ : 出力先（[フルパス]）が存在しません。
対策 : 出力先が存在するか確認してください。

- メッセージ : 出力ファイル（[フルパス]）が作成できません。
- 対策 : 出力先にファイルが作成可能であること（※）を確認してください。
※権限、属性、空き容量（入力ファイル以上の空き容量）など
- メッセージ : 入力ファイル（[フルパス]）にアクセスできません。
- 対策 : 入力ファイルが参照可能であること（※）を確認してください。
※権限、属性、ファイル有無、排他状況など
- メッセージ : 暗号化に失敗しました。
出力先の状態および申請データを確認してください。
- 対策 : 入力ファイルが電子媒体作成機能の媒体チェックにてチェック正常となることを確認してください。
また、出力先が書き込み可能であること（※）を確認してください。
※権限、属性、空き容量（入力ファイル以上の空き容量）など

2. よくある問い合わせ

- 問い合わせ : 暗号化済電子申請データをチェックする方法はありますか？
- 対策 : 暗号化済電子申請データをチェックすることはできません。
暗号化前の電子申請データで事前にチェックをお願い致します。
- 問い合わせ : 暗号化済電子申請データをまとめて送付することは可能ですか？
- 対策 : 報告は電子媒体作成機能と同じく 1 媒体 1 申請データをお願い致します。
- 問い合わせ : 暗号化前のデータを誤って削除してしまいました。
暗号化済電子申請データを復号することはできますか？
- 対策 : 復号機能は提供していません。
暗号化前のデータは電子媒体作成機能より以下の手順で再作成してください。
- ① 電子媒体作成機能を起動する。
 - ② 「媒体作成」を押下する。
 - ③ 学校記号番号、異動内容、対象年度（年月、年月日）を再出力する電子申請データに合わせて設定し、作成区分を「作成済み」にして媒体を作成する。